



平成会
ほんだ ひでき
本多 秀樹 議員

地場産業の振興について

Q 農業基盤整備事業について、本市の現状と課題はどうか。

A 農地の整備率は、水田39・1%、畑19・4%であり、三会原第3地区が82%で令和2年度完成、第4地区が4%で令和4年度完成を目指している。今後さらに三会の中原・寺中地区、大三東の松崎地区及び東大地区について県と一緒に推進中である。

課題は事業採択に必要な仮同意率の伸び悩みで、松崎地区で40・2%、東大地区では44・6%となっている。

Q 農地集積事業について、現在、本市が取り組んでいる事業は。

A 農地中間管理事業や人・農地プランに取り組んでいる。農地集積は耕地面積1840ヘクタールに対し1145ヘクタールで、耕地面積の約62%の集積率で県下でトップ。

Q 労働力確保事業について、現在、市が取り組んでいる事業は。

A 雇用労力支援システム事業により、島原雲仙農協の農援隊の運営に対し支援を行っている。

Q 水産業の振興について、水揚げ量の減少、高齢化、後継者不足など、漁業の実態はどうか。

A 平成29年度の漁獲量は10年前と比較すると約5割減少し、約795トン。28年度の漁協組合員数も約3割減少し356名で、60歳以上は7割を超え252人、30歳未満は2人と非常に少ない状況である。

介護職や保育職の支援

Q 人材不足が課題だが、市の取り組みはどうか。

A 島原広域圏では第7期介護保険事業計画で人材確保の推進のために、未就労者に仕事内容を紹介する講座や有資格者の復職支援の研修を計画している。また、保育士への支援として、処遇改善分を保育所等の運営費として交付し、保育士の賃金改善を行い、処遇改善及び人材の確保・育成に取り組んでいる。

【その他の質問項目】

◇小児医療事業

◇学力向上と教育環境の整備

◇社会インフラの整備について

◇行財政改革の推進について



庶民の会
ほんだ まつひろ
本多 松弘 議員

人口減少対策

Q 交流人口拡大への取組について

A スポーツ合宿・既存観光イベントの充実、島原城薪能やガマダス花火大会、不知火まつりなどを通して、今後も関係機関と連携・協力していきたい。島原城築城400年記念事業では観光の起爆剤と捉え、400年に恥じないような事業にしたい。

Q 定住人口拡大への取組について

A 移住促進には空き家バンクの創設をはじめ、都市圏での移住相談会への参加、お盆の帰省客向けの独自相談会の開催のほか、県と連携し情報を提供して、本年度は21世帯28人の方に移住して頂いている。

婚活事業は「ハッピーカフェ」での相談やお見合い、魅力アップセミナーなどを開催し、本年度はカップルが13組で2組が成婚されている。

Q 持続可能な財政運営のための取組について

A 合併算定替えの特例措置が令和3年度から本来の額に戻る。持続可能な財政運営には国・県の補助金など特定財源、有利な起債の活用、ふるさと納税の推進など歳入増加策に努める必要がある。

安全安心なまちづくり

Q みなと地区の埋立地、締切堤防の現状と今後について

A 12月頃から埋立工事に着手し、令和2年度の完成を目指している。来年度からポンプの設置工事等に着手し、令和3年度の完成予定。

埋立地は今のところ防災広場的な活用を考えているが、今後どんな使い方があるのか詰めていきたい。龍馬上陸の地については埋めずに保存し、昔ながらの石材を使ってモニュメントにつなげていきたい。

Q 河川、白水川上流の砂防えん堤の安全性について

A 河川管理について県では、優先順位を決めて行われている。また、砂防えん堤は劣化している部分が見られるので、あわせて要望したい。

【その他の質問項目】

◇島原病院小児科の今後の取組について

◇島原病院の銀行ATM設置について